

# だれ たの 誰もが楽しめる

in 刈谷 かりや

# アジア アジアパラ 競技大会をめざして

2024年1月28日(日)

じかん 時間: 13:00~16:00

さんかひ ていいん めい 参加費: ¥500 / 定員: 50名

かいじょう: かりや しちゅうおうしょうがいがくしゅう 会場: 刈谷市中央生涯学習センター

こうざしつ 501・502講座室

※JR/名鉄刈谷駅南口より徒歩 3 分

## スケジュール

- 13:00 開会挨拶  
【第1部】 基調講演
- 13:10 基調講演 開始
- 13:50 休憩  
【第2部】 シンポジウム
- 14:05 シンポジウム 前半開始
- 14:40 休憩
- 14:50 シンポジウム 後半開始
- 15:55 閉会挨拶
- 16:00 終了



## 【第1部】

きちようこうえん くるま 基調講演 『車いすだからこそ、行けた場所』

こうし おんだ りゅうじ し 講師: 恩田 竜二氏

(車いすフェンシング 東京パラリンピック出場)

愛知県名古屋市生まれ。中学よりバレーボールを始め、2003年に三重県の実業団に入部。2004年に受傷。2010年より車いすテニスを始める。2015年、車いすフェンシングに出会い、2021年東京パラリンピック出場。車いすテニスでは、2015年JAPANOPENほか、韓国やオーストラリア大会にも出場。車いすフェンシングでは、インドネシア、京都、UAE、イタリア、ブラジル、ポーランド、韓国、オランダ、ハンガリーのW杯に出場。

## 【第2部】

シンポジウム 『アクセシビリティガイドラインの実現を〜』

だれ たの 誰もがスポーツを楽しむための挑戦

シンポジスト: 工藤 登志子 氏 (認定NPO法人DPI日本会議 バリアフリー部長 補佐)

近田 和歩 氏 (刈谷市教育委員会 教育部 スポーツ課普及係 長)

佐藤 元紀 氏 (自立生活センターアクセル 代表)

コメンテーター: 恩田 竜二 氏 (パラリピアン 〈車いすフェンシング〉)

ファシリテーター: 伊藤 葉子 氏 (中 京 大 学 現 代 社 会 学 部 教 員)

情報保障:

- 手話通訳
- 要約筆記

参加申し込み方法 (詳細は裏面)

- ① 専用オンラインフォームにて
- ② 電話
- ③ FAX または郵送
- ④ Eメール

もうしこみほうほう  
【申込方法】

※申込み締切り 2024年1月14日（日）

次のいずれかでお申し込みください。

- ① 専用オンラインフォームにて  
<https://forms.gle/8pV7kqAyGXvtk8ja9>
- ② 電話  
TEL:052-851-5240
- ③ 下記の参加申込フォームに必要事項を明記し、FAXまたは郵送  
FAX:052-851-5241  
〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町2-15  
愛知県重度障害者団体連絡協議会 事務局



専用オンラインフォーム  
QRコード

参加申し込みフォーム

氏名(必須):

所属:

連絡先(必須):

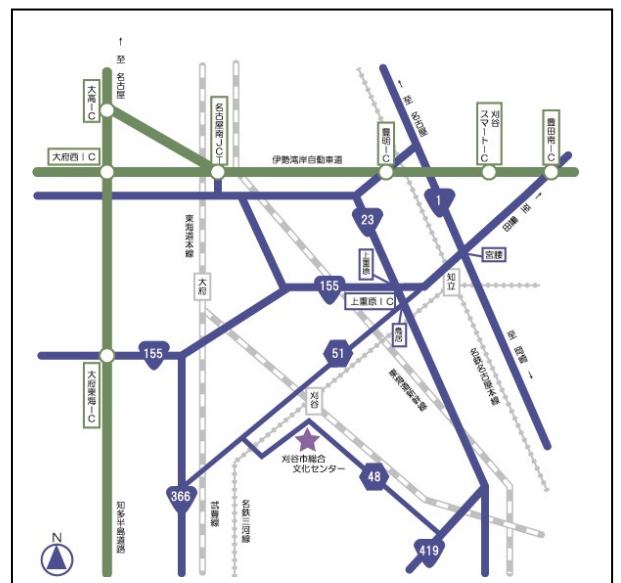
Eメールアドレス(必須):

その他必要な配慮があればご記入ください:

- 手話通訳が必要な方は口にチェックしてください  (必要)
- パソコン要約筆記が必要な方は口にチェックしてください  (必要)
- テキストデータが必要な方は口にチェックしてください  (必要)

東京オリンピック・パラリンピックから、これまでの経緯

2021年に東京オリンピック・パラリンピックが行われ、人種、性別、性的指向、障害の有無など、あらゆる面での違いを肯定することが大きなテーマでした。また、昨年8月にジュネーブで行われた障害者権利条約の日本審査では、多くの懸念や勧告を受けました。これらを鑑みて、安心して社会参加ができ、自立生活が当たり前に行える、共生社会の実現に向けた大きな一歩を踏み出す機会となるよう希望します。また、バリアフリー法もこの契機に改正され、競技会場のバリアフリー化をはじめ、東海道新幹線の車いす席の増設、都内地下鉄エレベーター設置等、多くの障害当事者参画が実現し、障害の有無に関わらず、すべての人にとって生活しやすいまちと変化させることができました。



【お問い合わせ】

愛知県重度障害者団体連絡協議会（担当:入谷、水野）

〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町2-15 TEL:052-851-5240 / FAX:052-851-5241

Eメール: [aijuren@aju-cil.com](mailto:aijuren@aju-cil.com) ホームページ: <http://aijuren.net>